

実施内容	ちょっと未来の東京と私 ～デジタルテクノロジーで私たちの生活はどう変わるのだろうか?～		体験領域	科学・先端技術
日付	令和5年11月2日（木）	場所	SusHi Tech Square(東京都千代田区)	
参加校	板橋区立板橋第五中学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> 最先端のアート表現やデジタルテクノロジーについての学びに加え、「未来の東京はどうなっていくのだろうか?」ということについて、自らの力で考え、他者に分かりやすく発表し、思考力、協調性、発表力を養うことができる内容となっています。 ワークショップでは、ファシリテーターが進行し、生徒から様々なアイデアを引き出していました。また、各グループが自分たちの考えを発表する際、発表内容がその場でイラストにして大画面で提示され、生徒は興味・関心をもって聞いていました。 			

個人ワーク

【内容】

「わたしのからだは心になる?展」の8作品を見学して、ワークシートに感じたことや思ったことなどを記入する。

・展示の内容は、現代における「身体」の有り様を鋭く問い掛ける作品でした。生徒たちは、多彩なアート表現を真剣な表情で見学をしていました。

・現場の解説員(アートコミュニケーター)からの説明を興味深そうに聞き、熱心に質問をする生徒が多く見られました。



ワークショップ

【内容】

5、6人のグループに分かれ、提示されたテーマについて、未来はどのようになっているのかをグループで意見をまとめ、発表し合う。

・「未来の〇〇はどうなっているのか」ということについて、活発に意見を出し合いました。その後、「どうなったら便利か、楽しいか」という視点からユニークな発表があり、大きな拍手が起きました。

【テーマ例】ペットを飼う人の未来
(生徒の考え)

- ・ペットの言葉が分かるようになる。
- ・飼い主がペットに似せることができる。
- ・遠くにいってもペットの触感を感じることができるようになる。



参加した生徒の声・反応

- ・自分では考えたことのないことがたくさんあり難しかった。グループワークが面白く、未来では今とは全く違う景色が広がっているのかもしれないと思った。
- ・未来についてよく考えることができた。また、ワークショップではいろいろな人たちが未来について考えて、他の人たちや各班の考えを聞いたことが面白かった。